

期	月	目標	日	曜	学校行事	日	曜	模試・進路行事	指導上の留意事項		
I期 規則正しい生活と学習への集団作り	4	真の“津高生”になれ！	8	月	始業式・入学式			初期指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高校生としての基本的な生活習慣・学習習慣の定着。(時間を守る、挨拶等)</li> <li>中学生を高校生に変える。時間を守る、挨拶、掃除等、徹底することが重要。(提出物の締切等は中学ではほとんど指導されていない)。そのことが「学習の遅れを許さない」ことにつながる。</li> <li>・家庭学習が絶対必要であることと学習方法を教える。</li> <li>多くの生徒が、塾等での受身の学習しか経験しておらず、家庭で自ら計画を立てて学習する経験がない。</li> <li>予習-授業-復習のサイクルが絶対必要であることを徹底し、学習方法を学ぶ。</li> <li>・英数国をバランスよく学習できるアドバイス。 (実質 平日2時間半、休日4時間)← (生徒向け標語は平日3時間、休日5時間) (英数国の割合を3:3:1を目安とする)</li> <li>・部活動との両立をはかるためのアドバイスを。</li> </ul>		
			10	水	オリエンテーション		10	水		学習ガイダンス教科編(~12(金))	
			15	水	確認テスト			12		金	面談週間(~18(木))
								13		土	学習ガイダンス自学自習編
								20		土	朝に、第1回進路集会
			26	金	遠足		25	木	スタディサポート 学年集会(GW学習計画)		
	5	中学校との違いを知り、自ら動け！	7	火	確認テスト			スタディサポート報告会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自学力の育成(教わる→学ぶへの転換)</li> <li>・夏季課外の案内。 中間考査の学習計画の立て方。</li> <li>学習計画を自分で立てるための指導を実施。(集会またはHRで)</li> <li>・タイムマネージメント(起床・学習開始・就寝時間の固定)。学習内容を具体的に計画(クッションも含めて)。中期的に考える(テストからテストまで2,3週間のタームで)</li> <li>・指導が浸透しているかのチェック(教科バランスも)</li> </ul>		
			24	金	県総体(~26(日))		17	金		学年集会	
						22	水	学習時間調査			
	6	自宅での学習習慣を確立せよ！	3	月	中間考査(~6(木)まで) (類型・科目選択予備登録)			補充授業 個人面談	<ul style="list-style-type: none"> <li>・津高生は中間考査までは学習するがそれ以降だらける生徒が出る。</li> <li>中間考査後に短時間でも面談を実施。だらけるのを防ぐ。考査不振者への指導(補充授業等)</li> <li>・学年の担当者会議でコミュニケーションをとり、宿題やテスト等のバランスを考える。 (考査期間中に時間を取る?)</li> <li>・リクルートGM 梶原さんの講演 ⇒学年懇談会で指導方針を詳しく説明。合意を得る。(学年集会では同じ内容を生徒に) (自分探し、夏季課外等の内容も提示。学校でしっかり勉強できることを伝える)</li> </ul>		
			15	土	学年懇談会		7	金		キャリア講演会①	
					3年間の大きな流れ(方針)と、 当面の考え方を説明。		14	金		学年集会	
				21	金	SSH講演会		19		水	校内模試
	7	将来を思い描き、夢実現のスタートを！					6	土	学習時間調査 第1回進研模試 (第一回難関大ガイダンス)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏休みを充実させるための指導を。(集会でも全体で徹底を) ⇒レク大中の放課後に実施。早い段階で上位者層の意識づけを行う。</li> <li>何も指導しないと、生徒は自分の力を伸ばす方向には進んでいかない。難関大を目指す意味を伝え、難関大を目指すことが普通になるような状況を作りたい。(もちろん、それは難関大が全て、ということではない)</li> <li>・保護者会で反省と目標を確認。</li> <li>・基礎課外で、学習の遅れを取り戻させる。</li> <li>・課外Ⅰ期・Ⅱ期は午前中70分×3コマで実施。部活動とすみ分けることでメリハリをつける。</li> </ul>	
							10	水	学年集会(夏休み計画)		
							17	水	保護者会(~19(金)) 基礎課外も		
							18	木	東大キャンパスツアー(~19(金))		
						22	月	夏季課外Ⅰ期			
						29	月	夏季課外Ⅱ期			
	8	「これをやった」といえる夏。まずは弱点克服！					2	金	登校日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・7月までの授業の総復習をさせる。</li> <li>・計画どおりに学習するように。登校日に、前半までの課題の提出日を設定する。希望者模試は夏休み前半までの学習を試す</li> <li>⇒長期休業期間が持たない傾向 ⇒ 登校日(8月2日[金])に必要であれば学年集会を。 (文化祭準備のスタートにも位置づけられる)</li> <li>⇒夏休み気分の一掃。確認テストの復習。</li> </ul>	
							3	土	希望者模試(河合)		
							5	月	夏季課外Ⅲ期(~9(金))		
						16	金	夏季課外Ⅳ期 (学年集会)			
			26	月	確認テスト(~27(火))		30	金	学年集会		
	9	行事に参加、考査に集中！	5	木	文化祭(~7(土))			(スタディサポート②)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・提出物の確認をする。(確実に！)</li> <li>・文化祭の準備等と学習にメリハリをつけさせる。(学習時間確保)</li> <li>・文化祭明けにまず、学習への体勢を立て直す指導を入れたい。(学年集会等)</li> <li>・同時に4月からの指導の検証を行い、後期の指導の検討を行いたい。そのためには、学年レベルで、学習時間、教科バランスのデータを取り、かつ、全体の傾向が5月頃とどう変わっているかを分析する必要がある。</li> </ul>		
					(第一回 類型・科目選択登録)		9	月		難関大卒業生座談会	
			24	火	期末考査(~30(月))						

期	月	目標	日	曜	学校行事	日	曜	模試・進路行事	指導上の留意事項	
Ⅱ期 段階別、階層別指導・アドバイスへの移行	10	学習面・生活面の再確認を！	1	火	芸術鑑賞				<ul style="list-style-type: none"> <li>前半での難関大志望者への意識付けと仲間作り。</li> <li>後半での中間層のレベルアップをする仕掛け ＝このあたりで中間層が苦しくなる。I期でつけた学習習慣を維持するか下降するかで最終結果を大きく左右する。以上2点が後期のポイント</li> </ul>	
			2	水	体育祭		11	金	学部学科研究①	<ul style="list-style-type: none"> <li>レク大の練習等と学習にメリハリをつけさせるとともに、体育祭で津高生としての誇りを持たせる。</li> <li>文理選択について熟考させる。津高OB大学生との座談会。</li> </ul>
			3	木	後期始業式		15	火	面談週間(～21(月))	<ul style="list-style-type: none"> <li>苦しくなってきた生徒を早い段階で面談等でフォローする。その際、9月の分析も踏まえて、学年全体で方向性を決めておく。</li> </ul>
										<ul style="list-style-type: none"> <li>学習が苦しくなってきた生徒を学年全体で支えていく。I期で困難な生徒を最小限にしておかないと厳しい。合わせて、この面談では文理選択の相談にしっかりとってあげたい。</li> </ul>
	11	自分を磨く秋！そして文理選択！	9	土	保護者対象進路懇談会	1	金	学部学科研究②	<ul style="list-style-type: none"> <li>文理選択について熟考させる。津高OB大学生との座談会。</li> </ul>	
				進路の立場から見ると、キャリア教育の視点から3年間を考えることを6月に続き伝えておきたい。また、今年度より変更があるカリキュラムの説明も行い、より確実な文理選択につながるようにする。	2	土	第2回進研模試	<ul style="list-style-type: none"> <li>校外模試、校内模試を学習の意識付けに使う。(模試の成績返却の際には、たとえ1分でも話をして返却する)</li> </ul>		
			29	金	第二回類型・科目選択登録	12	火	校内模試 学習時間調査 進路希望調査(第一回)	<ul style="list-style-type: none"> <li>1回目の進路希望調査になる。東大と京大の差が開いている現在、今後、東大受験ができる学校と京大までの学校におそらく分かれていくと思われる。そういった状況の中で、東大希望者を増やすことが必要であるとする。東大50名&amp;京大30名位が目途か。下げるのは簡単だが、上げさせるのは難しい。ある意味で、ここは一つの勝負。初めてであるので、集会をもって全体指導をしたうえで、調査する。</li> </ul>	
						15	金	キャリア講演会②	⇒中京大学キャリアセンター 増田氏の講演	
12	テストを活かせ！	2	月	中間考査(～5(木))	20	金	学年集会	<ul style="list-style-type: none"> <li>赤本調べ？</li> <li>⇒冬季休業に向けて。</li> <li>⇒放課後もしくは冬休み序盤に。上位者の学力ケアとモチベーション維持。</li> </ul>		
		24	火	冬期休業			(第二回難関大ガイダンス)	<ul style="list-style-type: none"> <li>上位者の学力ケアとモチベーション維持を目的に再度難関大ガイダンスを実施する、または、教科面でのガイダンスを実施するなど、放課後等に集まる機会を作る、仲間作り(意識)をすすめたい。この際に、2月に予定されているトップレベル模試の受験を勧める。(前回の難関大ガイダンスからの流れとして上位を目指す意思をさらに醸成する。</li> </ul>		
1	心新たに自分を見つめ、大きな夢を！	8	水	(類型・科目選択×切り)確認テスト	25	土	第3回進研模試	<ul style="list-style-type: none"> <li>校外模試を受験し、自分の実力を直視させる。</li> </ul>		
		9	木	〃				<ul style="list-style-type: none"> <li>一方で、冬休み明けの提出物のチェック等、徹底し、不振者を出さない指導を確実に。</li> </ul>		
2	1年間の成果を出すために！				1	土	駿台ハイレベル模試(希)	<ul style="list-style-type: none"> <li>冬季休業後、最も授業の進む時期だと意識させる。</li> <li>⇒進路ガイダンス(3月「0学期」の過ごし方と計画立案)</li> </ul>		
					7	金	学年集会			
					12	水	校内模試 学習時間調査 進路希望調査			
3	考査後、自分はどよう過ごす？ この一ヶ月で2年が決まる！	3	月	学年末考査(～7(金))	7	金	(進路検討会)	<ul style="list-style-type: none"> <li>この一ヶ月の学習の重要性を十分に伝えて、春休みの学習を促す。</li> <li>→春休みの計画</li> </ul>		
					8	土	学年集会	<ul style="list-style-type: none"> <li>英数国の苦手分野をなくさせる。</li> <li>⇒全国トップ進学校としてともに受験。</li> </ul>		
					15	土	スタディサポート 学研ハイレベル模試(希)	<ul style="list-style-type: none"> <li>成績中から下位者には個人面談を実施。</li> <li>成績上位者には、意識づけになるような仕掛けを。</li> </ul>		
							(第三回難関大ガイダンス) 進路講演会			